

東洋の秋

芥川龍之介

青空文庫

おれは日比谷公園を歩いてゐた。

空には薄雲が重なり合つて、地平に近い樹々の上だけ、僅にほの青い色を残してゐる。

そのせるか秋の木の間の路は、まだ夕暮が来ない内に、砂も、石も、枯草も、しつとりと濡れてゐるらしい。いや、路の右左に枝をさしかはせた篠懸にも、露に洗はれたやうな薄明りが、やはり黄色い葉の一枚毎にかすかな陰影を交へながら、懶げに漂つてゐるのである。

おれは篠の杖を小脇にして、火の消えた葉巻を啣へながら、別に何処へ行かうと云ふ当もなく、寂しい散歩を續けてゐた。

そのうそ寒い路の上には、おれ以外に誰も歩いてゐない。路をさし挟んだ篠懸も、ひっそりと黄色い葉を垂らしてゐる。仄かに霧の懸つてゐる行く手の樹々の間からは、唯、噴水のしぶく音が、百年の昔も変わらないやうに、小止みないさぎめきを送つて来る。その上今日はどう云ふ訳か、公園の外の町の音も、まるで風の落ちた海の如く、蕭条とした木立の向うに静まり返つてしまつたらしい。——と思ふと鋭い鶴の声が、しめやかな噴水の響を圧して、遠い林の奥の池から、一二度高く空へ挙つた。

おれは散歩を続けながらも、云ひやうのない疲労と倦怠とが、重たくおれの心の上ののしかかつてゐるのを感じてゐた。寸刻も休みない売文生活！ おれはこの儘たつた一人、悩ましいおれの創作力の空に、空しく黄昏の近づくのを待つてゐなければならぬのであらうか。

さう云ふ内にこの公園にも、次第に黄昏が近づいて来た。おれの行く路の右左には、苔の勻や落葉の勻が、混つた土の勻と一しよに、しつとりと冷たく動いてゐる。その中にうす甘い勻のするのは、人知れず木の間に腐つて行く花や果物の香りかも知れない。と思へば路ばたの水たまりの中にも、誰が摘んで捨てたのか、青ざめた薔薇の花が一つ、土にもまみれずに勻つてゐた。もしこの秋の勻の中に、困憊を重ねたおれ自身を名残りなく浸す事が出来たら――

おれは思はず足を止めた。

おれの行く手には二人の男が、静に竹箒を動かしながら、路上に明るく散り乱れた篠懸の落葉を掃いてゐる。その鳥の巢のやうな髪と云ひ、殆ど肌も蔽はない薄墨色の破れ衣と云ひ、或は又獣にも紛ひさうな手足の爪の長さと云ひ、云ふまでもなく二人とも、この公園の掃除をする人夫の類とは思はれない。のみならず更に不思議な事には、おれが

立つて見てゐる間に、何処あひだからか飛んで来た鴉からすが二三羽、さつと大きな輪あがを描くと、黙もくね然んと箒はきを使つてゐる二人の肩や頭の上へ、先を争つて舞さがひ下つた。が、二人は依然とし

て、砂上に秋を撒まき散らした篠懸の落葉を掃いてゐる。

おれは徐おもむくに踵かかとを返して、火の消えた葉巻を啣くはへながら、寂しい篠懸の間の路を元来はうた方へ歩き出した。

が、おれの心の中には、今までの疲労と倦怠との代りに、何時いつか静な悦びがしつとりと薄うす明あかるく溢あふれてゐた。あの二人が死んだと思つたのは、憐あはむべきおれの迷ひたるに過ぎない。寒山かんざん拾得じつとくは生きてゐる。永劫えいこくの流転るてんを閲けみしながらも、今日猶この公園の篠懸の落葉を搔かいてゐる。あの二人が生きてゐる限り、懐こしい古東洋の秋の夢は、まだ全く東京の町から消え去つてゐないのに違ひない。売文生活に疲れたおれをよみ返らせてくれる秋の夢は。

おれは籐とうの杖を小脇にした儘、気軽く口笛を吹き鳴らして、篠懸の葉ばかりきらびやかな日比谷公園の門を出た。「寒山かんざん拾得じつとくは生きてゐる」と、口の内に独り呾つぶやきながら。

(大正九年三月)

青空文庫情報

底本：「芥川龍之介作品集第二巻」昭和出版社

1965（昭和40）年12月20日発行

※平仮名の繰り返し記号に「ゝ」を用いる扱いは、底本通りとしました。

※底本の「ほの青い色を残してゐる。」「灰」《ほの》かに「殆《ほとんど》ど」はそれぞれ、「ほの青い色を残してゐる。」「灰《ほの》かに」「殆《ほとんど》ど」にあらためました。

※疑問点の確認にあたっては、「芥川龍之介全集 第六巻」岩波書店、1996（平成8）年4月8日発行を参照しました。

入力：j.jutyama

校正：かとうかおり

1999年1月27日公開

2003年10月7日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

東洋の秋

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>